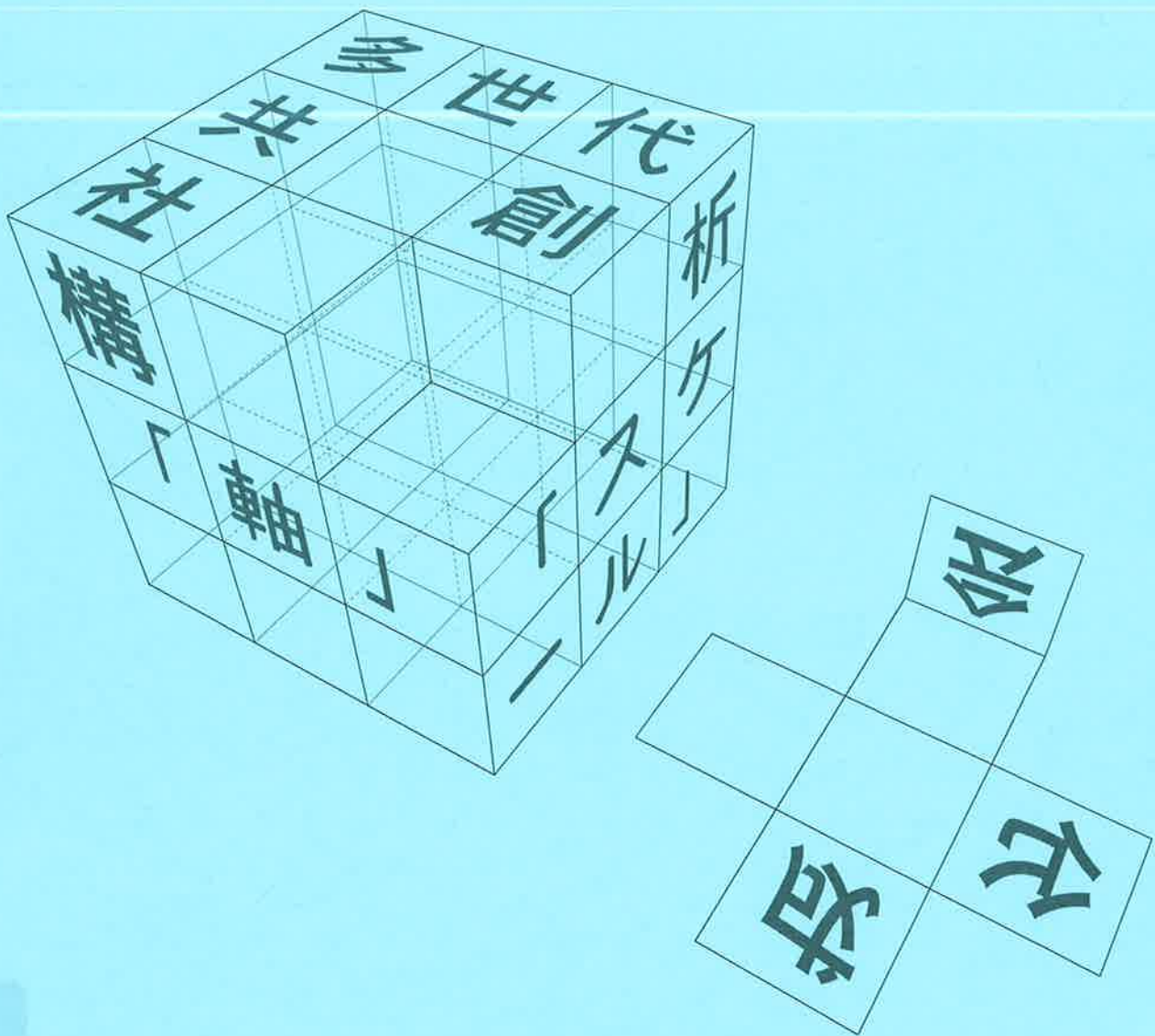


多世代共創社会の構成「軸」とその分析「スケール」



目 次

—— 主題解説論文 ——

1. 都市計画における空間の方向付け
—空間スケールと数理モデルのマッチング— 1
渡部大輔（東京海洋大学）
2. 数理モデルの対象としての建築計画 5
本間健太郎（東京大学）
3. 行政や市民協働の現場における「定量」や「数理」の位置付け 9
讃岐 亮（首都大学東京）
4. 人間による空間認識の多様性
—「地元」という概念への認識を対象として— 15
関口達也（中央大学）

—— 寄稿論文 ——

5. 世代ミックスの空間スケールを考える 21
樋野公宏（東京大学）
6. 都市の歩きやすさと健康 23
宮崎慎也（福岡大学）
7. 都市居住者の行動と近隣文脈 27
上杉昌也（福岡工業大学）
8. 地区内世代構成の変化と時空間施設配置モデルによる持続可能社会設計の展望 31
鈴木 勉（筑波大学）
9. 人口推計における人口規模の影響を考慮した残差から考察する高齢人口の動向 35
古藤 浩（東北芸術工科大学）
10. 新興住宅地における世代構成の数理
—時間が有する構造的宿命の一例— 41
本間裕大（東京大学）
11. 都市形態における多様性のなかの法則性 45
薄井宏行（東京大学）
12. Median Share Ratio を用いた公平性からみた施設配置の評価 47
田中健一（慶應義塾大学）・古田壮宏（奈良教育大学）
13. 領域間直線距離の積率近似式を求める重要性 51
栗田 治（慶應義塾大学）